

森林資源活用で地域の未来を伐り拓く

津和野町役場 農林課 岡本 直也



町消滅の可能性

消滅可能性自治体という言葉を知っていますか？これは2014年に日本創成会議が発表したものであり、2010年から2040年にかけて20〜39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市町村区のことです。そこで発表された消滅可能性ランキングで49位にランクインしたのが私の住む津和野町でした。（全国には約1800市町村がある）

津和野町は、島根県西部に位置する、人口約7000人の町で、山陰の小京都とも称される城下町であり、年間100万人が訪れる観光地です。しかし、消滅可能性自治体に挙げられるように、人口減少率がマイナス10%超えと人口減少が問題となっています。

ヤモリズの誕生

先述のように人口減少対策が急務であったこと、町面積の9割を占める山林が担い手不足により放置されていることが多くなっていたことから、津和野町では山林を活用した仕事づくりに取り組み始めました。

そして、山林の活用法を勉強している際

に自伐型林業を知り、現行林業よりも参入のハードルが低く、災害にも強い林業だと知ったことがきっかけで、自伐型林業を津和野町の新しい生業とすることを決めました。また自伐型林業の実践を行うに当たり、地域おこし協力隊（都会から田舎へ移住し地域振興に携わる制度）を組み合わせることで、人口減少対策＋林業の担い手不足の解消を図っています。



ヤモリズ集合写真

こうして始まった自伐型林業×地域おこし協力隊事業ですが、地域おこし協力隊の林業チームでは味気ないですし、親しみやすさもないので、「山を守る」にちなみ、「津和野ヤモリズ」と命名して活動を始めました。

自伐型林業の実践

津和野町が実践する自伐型林業は幅員2・5m、切取法高1・4m以下を基本とした『壊れない作業道づくり』と長伐期択伐施業による持続可能な林業で、ヤモリ

ズでは自伐型林家として独立出来るよう3年間、作業道開設や間伐搬出の技術習得の研修に励みます。

ヤモリズに入ってくるメンバーのほとんどがチェーンソーを持ったこともない林業未経験者ですが、3年間の研修の中で立派な作業道を付けるようになるので、メンバーが作った道を地元の方に見ていただくと、「たった3年の研修でこれだけの道を作るんか」、「こんな道が出来るなら、うちの山もやって貰いたい」といった感想を頂きます。担当者としても作業前はただの山だったところ



間伐の様子



作業道開設の様子

に立派な作業道が作られていくのを見ると「凄いな」と毎回感心させられます。

地域に溶け込む工夫

移住者であるヤモリーズのメンバーが津和野町で自伐型林家として生きていくためには技術習得だけでなく、地域に溶け込み、関係性を築き、山を任せてもらう必要がありますので、地域に根付く工夫として住居はアパートではなく、津和野町で行っている空き家バンク制度を利用し、空き家を借りています。そして、空き家の中でも、町の中心部ではなく、山間部の空き家を借りることにしています。その狙いとしては、山間部に住む人の方が山を所有している割合が高いので、田舎ならではの自治会活動や消防団に参加してもらい、地元の人に顔を覚えてもらうことで山を任せてもらいやすくなるためです。こうした作戦により、卒業生が住む地域の山の整備を任せてもらっている例もあります。

地域の活性化

平成26年の11月から事業が開始し、これまで22名の方が津和野町へ来てくれました。22名のうち、5名がヤモリーズとして研修中、1名が農業の道へ（現在も津和野町在住）、6名の方が転出してしまいました。8名が自伐型林家として生計を立てており、2名が林業に携わっています。その中でも家族で移住してきたメンバーや津

和野町に来て結婚し、子供も生まれたメンバーもいるなど人口減少の減速化、地域の活性化に大きく貢献してくれています。また、独立したメンバーに独立後の



小学校での森林学習も担当している

の話の聞くと、「家族を養っていける稼ぎはありますよ」、「大変だけど、山に入っ

て仕事をするのは楽しいです」と答えてくれるなど取組みに一定の成果が出ていると感じます。

そして、協力隊×自伐型林業は人口減少対策十担い手不足の解消の他にも相乗効果を生んでいます。例としては櫛の生産を行っている地区の森林整備を行う際に、作業道を櫛林に接するよう

今後の展開

津和野町では令和4年度に木質バイオマスガス化発電所（40kw×12基＝480kw）が稼働予定であり、材の買取価格が上がることでより一層、森

林整備が促進されることが想定されています。

その中で、ヤモリーズという木の出し手は育ってきているので、今後は木を加工し、利用する人材の育成、仕組み作りに取り組み、材の価値を上げるとともに様々な形で木材が利用出来るようになればと考えています。

最後になりますが、これからも引き続き、中山間地域の再生モデルとなるよう事業を推進していきます。



津和野ヤモリーズホームページ
https://tsuwano-yamories.com



津和野ヤモリーズブログ「note」
https://note.com/tsuwanoyamori

ヤモリーズ施業履歴																
年度	H27		H28			H29				H30		H31		R2		合計
団地	1	2	1	2	3	1	2	3	4	1	2	1	2	1	2	
作業道開設延長 (m)	408	646	901	1,090	1,100	872	1,518	1,247	563	529	550	1,113	667	559	639	12,402
間伐面積 (ha)	2.04	2.18	1.67	3.28	2.61	間伐は次年度		3.61	2.58	3.69	5.1	3.55	2.28	1.51	1.58	35.68